

おいしいお肉に舌鼓 美郷町べごっこまつり

6月24日、大台野広場イベント棟にて「第13回美郷町べごっこまつり」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、町内外から多くの方が町内産黒毛和牛の牛肉を購入するため列を作りました。

会場では、牛肉のほか、会場内で食べることのできる焼肉セットも販売。町内産牛肉を味わいました。そのほか、「美郷のミズモ」とのPK対決や、ロール転がしレースなど各種イベントも行われました。

学友館特別展 川瀬巴水 東日本を旅する

6月24日から7月23日の期間、美郷町学友館では、特別展「川瀬巴水 東日本を旅する」が開催され、多くの観覧者が訪れました。6月24日と、7月23日には、今回展示された作品を収蔵している大田区立郷土博物館の学芸員である、眞坂オリエ氏によるギャラリートークが実施されました。

秋田の元気を美郷から 美郷カレッジ

6月24日、美郷町公民館を会場に美郷カレッジが開催されました。今年度第2回目、前期講座最後となる今回は、星薬科大学教授の塩田清二氏を招き「アロマセラピーと先端医療」のテーマで講演が行われました。講演では、実例に基づく香りがもたらす効果についての説明など、科学的にアロマセラピーについて学びました。また、当日は秋田県立大学のあきた地域学を履修している学生の皆さんも参加し、活発に塩田先生へ質問を投げかけていました。

健康は自分で守る 「新しい健康づくり」講演会

6月29日、住民活動センターにて「新しい健康づくり講演会」が開催されました。第1部はあきたタニタ食堂マネージャーの桐生晶子氏により「健康寿命を延ばすための食のお話 ～バランスの良い食事のコツ～」のテーマで、第2部は東京都健康長寿医療センター研究所の青柳幸利氏により「活動量計といっしょに'歩く'、新しい健康づくり ～さまざまな病気を予防して健康寿命をのばすために～」のテーマで講演が実施されました。会場には、ほぼ満席となる約200名の参加者が訪れ、健康な食生活や、運動と健康の関係などについて学びました。

「笑う101歳×2 笹本恒子 むのたけじ」上映会

7月8日、映画「笑う101歳×2 笹本恒子 むのたけじ」の上映会が美郷町公民館で開催され、満席となる400名近くの観覧者が訪れました。この映画は、共に101歳となった、美郷町出身でジャーナリストのむのたけじ氏と、女性初の報道写真家である笹本恒子さんを追ったドキュメンタリー映画で、東北地方では美郷町が初めての上映会場となりました。上映会の後は、監督である河邑厚徳氏による講演が行われ、撮影秘話などが語られました。



JALプレゼンツ ブラウブリッツ秋田ホーム戦 美郷FCスポ少がエスコートキッズとして大活躍!

7月9日にあきぎんスタジアム（秋田市）でブラウブリッツ秋田対Y.S.C.C.横浜の試合が行われ、美郷FCスポーツ少年団の子どもたちがブラウブリッツ秋田のエスコートキッズを務めました。この試合は、町と連携協定を結んでいる日本航空株式会社（JAL）のスポンサー試合で、「美郷の未来の」リーガーに本物のピッチを感じてほしい」というJALの温かいお声掛けにより実現しました。エスコートキッズを務めた子どもたちは、大観衆の中、選手としっかり手を握り堂々とピッチに入場し、キックオフ直前の緊張感を味わいました。



美郷町へようこそ! ふる郷体験ツアー

7月15日から17日にかけて、東京都大田区から11名が美郷町を訪れ、自然に触れ合ったり、農作業に参加したりしながら、美郷町の暮らしを体験しました。この「ふる郷体験ツアー」は、交流を通して都会の住民のふる郷(田舎)づくりを推進するとともに、町内産農産物の販路拡大など、町の活性化を目的として開催され、ことしで6回目となります。



美郷町消防訓練大会にて
あいさつをする松田町長

コラム 風

「ゆるゆる」ゆるゆる」

美郷町長 松田知己

夏休み真っ盛り8月。子供たちはのびのびと遊んでいるものと思います。そして宿題も：がんばっていますよね、きつと。夏休みの宿題については、私の場合「あゝ、宿題か」という感じでしたが、小学時代のそれは確かドリルと工作だったように思います。私ほどに嫌いなドリルは早く仕上げ、遊ぶこと。そして工作は最後に仕上げるという順でしたが、その工

作、小学時代には割と絵が得意でしたので、下着のシャツに油性ペンで漫画を描いて絵付きTシャツを制作。工作が楽しかった思い出が残っています。そうした経験のためか「つく」ということ、私は基本的に楽しい行為と思っています。もしかして農耕民族として、つくの喜びの遺伝子があるのかも知れません。そこで改めて「つく」を考えてみます。すると、人間は常に何かをつくっていることに気が付きます。食料や生活物資、制度や構造物、文化や歴史、そして人生も。

さて昨年、美郷中学校において壁画制作のプロジェクトが展開されました。生徒たちには芸術家の制作過程を目的にすること、この肌感覚を感じるとともに、「つくる」とはどういうことかを考える意義深い機会だったと思います。今後この記憶を大切に、いつの日か違う視点で理解し、深い思慮に繋げることを期待したいと思えます。さらにそうした思慮を通じ、よりよい人生を考えるきっかけになることを期待したいと思います。そして今年度、町では別のプロジェクトをスタートさせます。全小学校で壁画制作する取り組みで、今度は児童に「つくる」を感じてもらいたいと思います。各壁画にはそれぞれテーマがありますが、実は作品全体を貫く思想（まだ内緒です）が別にある、完成した暁にはきつと素晴らしい作品群になります。画家は美郷中学校を手掛けてくれた大小島真木さんです。その制作順番ですが、昨年度美郷中学校でしたので、今年度は仙南小学校で8月下旬から展開し、来年度は千畑小学校、再来年度は六郷小学校の予定です。児童には、「つくる」ことの楽しさを感じてもらおうとともに、大人になつてからさらに深く考える、大切な記憶になることを願っております。